

報告事項 2

第3次大和郡山市都市計画マスタープラン
の策定について（中間報告）

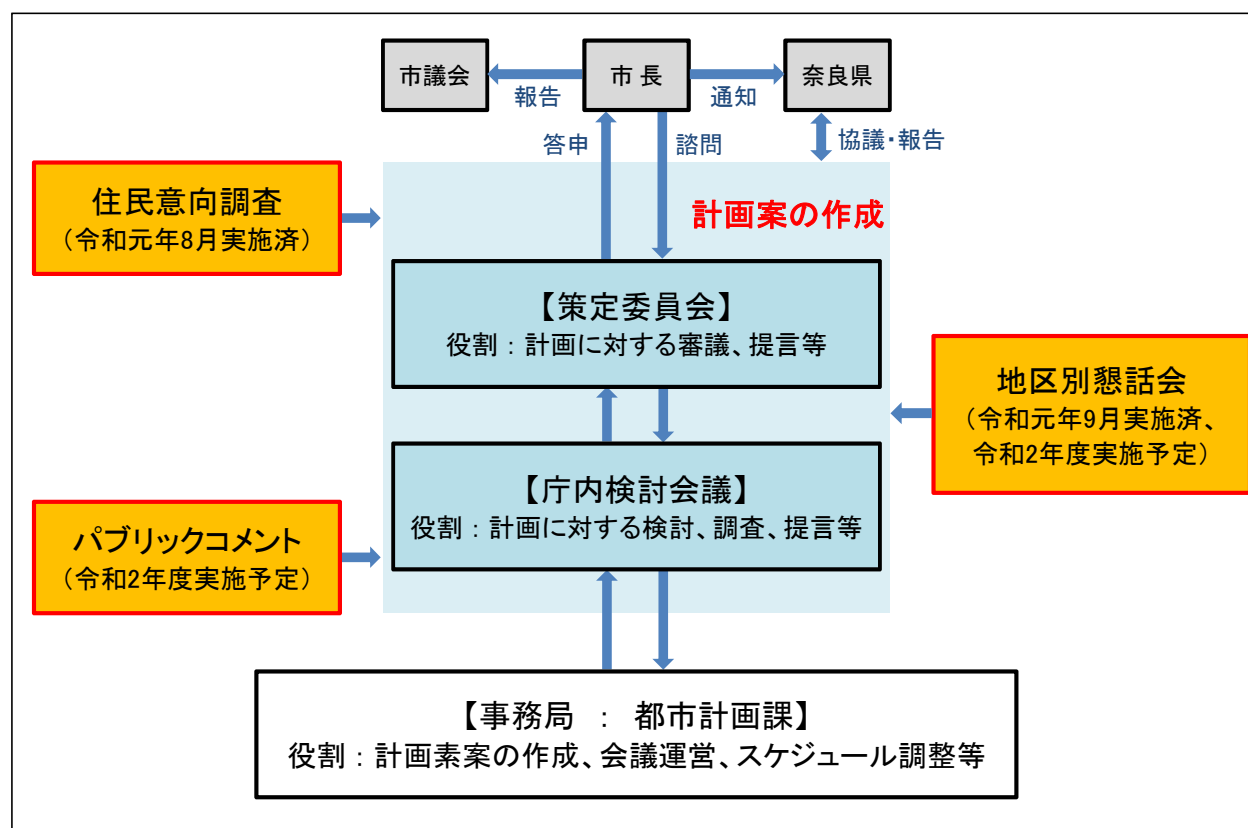
報告事項2 第3次大和郡山市都市計画マスタープランの策定について（中間報告）

1. 概要

平成21年3月策定の第2次都市計画マスタープランの目標年次が令和2年度であることから、新たに第3次都市計画マスタープランを2箇年で策定するものです。

本計画は、主にまちの将来像、将来の都市構造、まちづくりの方針、地域別構想、実現化方策から構成されており、土地利用や都市施設などについての計画となります。

2. 策定体制



3. 関連計画との連携

(1) 立地適正化計画（平成30年4月公表 第63回都市計画審議会にて報告）

高齢者をはじめとする住民が公共交通により生活サービスにアクセスできるなど、日常生活に必要なサービスが住まいなどの身近に存在する集約型都市構造の推進を目的としています。

(2) 総合交通戦略（令和2年4月公表予定）

まちづくりの根幹として非常に重要な役割を担う交通について、将来のまちづくりを支えるとともに、本市が抱える交通課題の解決を図ることを目的としています。

(1) コンパクト + (2) ネットワーク → コンパクトシティの実現

4. 令和元年度の策定作業内容

(1) 課題整理

本市および取り巻く現状分析、住民意向調査、地区別懇話会、庁内検討会議などから課題を洗い出し作業を行い、各分野ごとに整理しました。

(2) 都市づくりの目標設定

今後、予定されている主要プロジェクトなども参考にしながら、以下の点に留意して、都市づくりの目標を設定しました。

- ① 将来発生する新たな課題にも、柔軟に対応できること
- ② 課題解決に終始しない目標実現型の都市づくり
- ③ 住み続けたいと思える魅力あるまち（定住促進）

(3) 将来都市構造の核・連携軸の設定

- 拠点・・・中心拠点、地域拠点、医療拠点、レクリエーション拠点、産業拠点、歴史・文化拠点、交流拠点、交通拠点
- 連携軸・・・広域連携軸、地域連携軸

5. 今後の検討項目と策定スケジュール（予定）

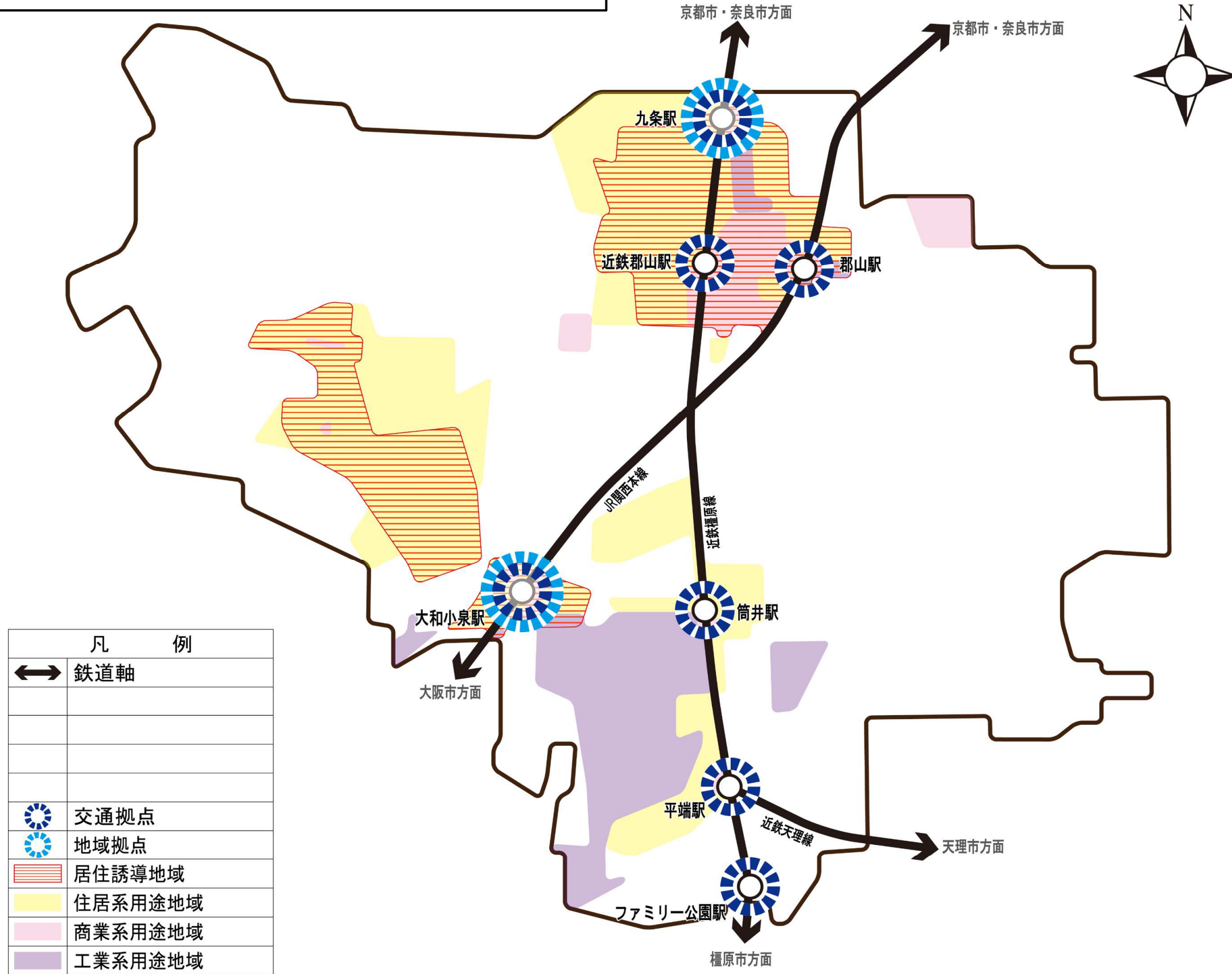
(1) 今後の検討項目

- ① 都市づくりの方針（全体構想・・・土地利用や都市施設、景観形成等）
- ② 地域づくりの方針（地域別構想）
- ③ 実現化方策

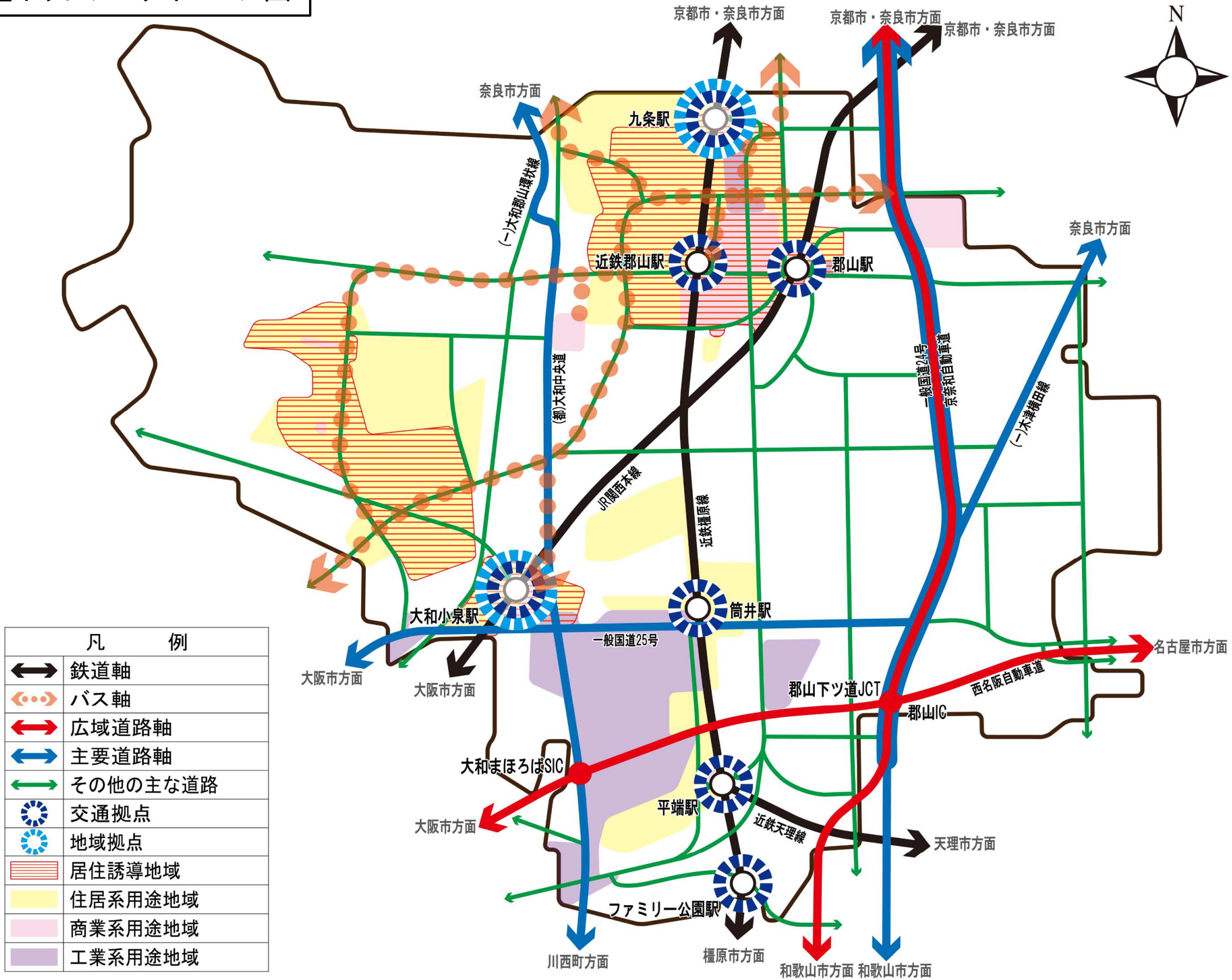
(2) 策定スケジュール（予定）

令和2年7月上旬	第3回 庁内検討会議
令和2年7月下旬	第2回 地区別懇話会
令和2年8月上旬	第3回 策定委員会
令和2年9月中旬	市議会へ報告
令和2年12月中旬	パブリックコメントの実施
令和2年1月下旬	第4回 庁内検討会議
令和3年2月上旬	第4回 策定委員会
令和3年3月上旬	市議会へ報告
令和3年3月下旬	公表

将来交通ネットワークイメージ図(交通拠点・地域拠点)



将来交通ネットワークイメージ図



都市計画分野	まちづくりの課題
土地利用	●安全で安心して暮らせる豊かな住宅地の形成
	●生活環境を守るための土地利用の誘導
	●空き家対策（発生抑制・維持管理・利活用）
	●低未利用地の利活用
公共交通道路	●選択と集中による的確な道路網の整備
	●将来を見据えた公共交通網の見直し
	●ハード・ソフト施策による総合的な交通ネットワークの検討
公園・緑地	●住民の憩いの場となる身近な公園・緑地の整備・充実
	●既存施設の有効活用、維持管理・改築更新
その他の都市施設	●時代の変化や利用者ニーズに応じた機能更新や適切な維持・管理
市街地産業環境	●全世代が安心して便利に暮らせる市街地の形成
	●県下一の工業規模の維持とそれを活かした求心力のあるまちづくりの推進
歴史文化遺産都市景観レクリエーション	●歴史的景観と自然環境の豊かさをいかした地域特性に応じた都市景観の創出
	●景観形成による地域の誇りや魅力の維持向上
防災・減災	●災害時に安全性を確保できる施設整備の推進
	●防災啓発活動による住宅の耐震化の推進

都市づくりの目標①

**地域資源を活かした
市民の誇りを高める都市づくり**

- 関連主要プロジェクト**
- 城下町地区における空き店舗・空き家の利活用
 - 郡山城跡の国史跡指定を目指す
 - 郡山城跡公園整備（城内学舎跡地整備）
 - 景観計画
 - 歴史まちづくり
 - 用途地域の見直し

都市づくりの目標②

**誰もが利用可能な移動環境が
確立された利便性の高い都市づくり**

- 関連主要プロジェクト**
- 近鉄郡山駅の駅舎移設
 - 都市計画道路「城廻線」の踏切道路の地下化
 - 京奈和自動車道
 - リニア中央新幹線新駅の誘致
 - 市道伊豆七条高野線の整備

都市づくりの目標③

**都市の活気を高める産業環境を
維持・発展する都市づくり**

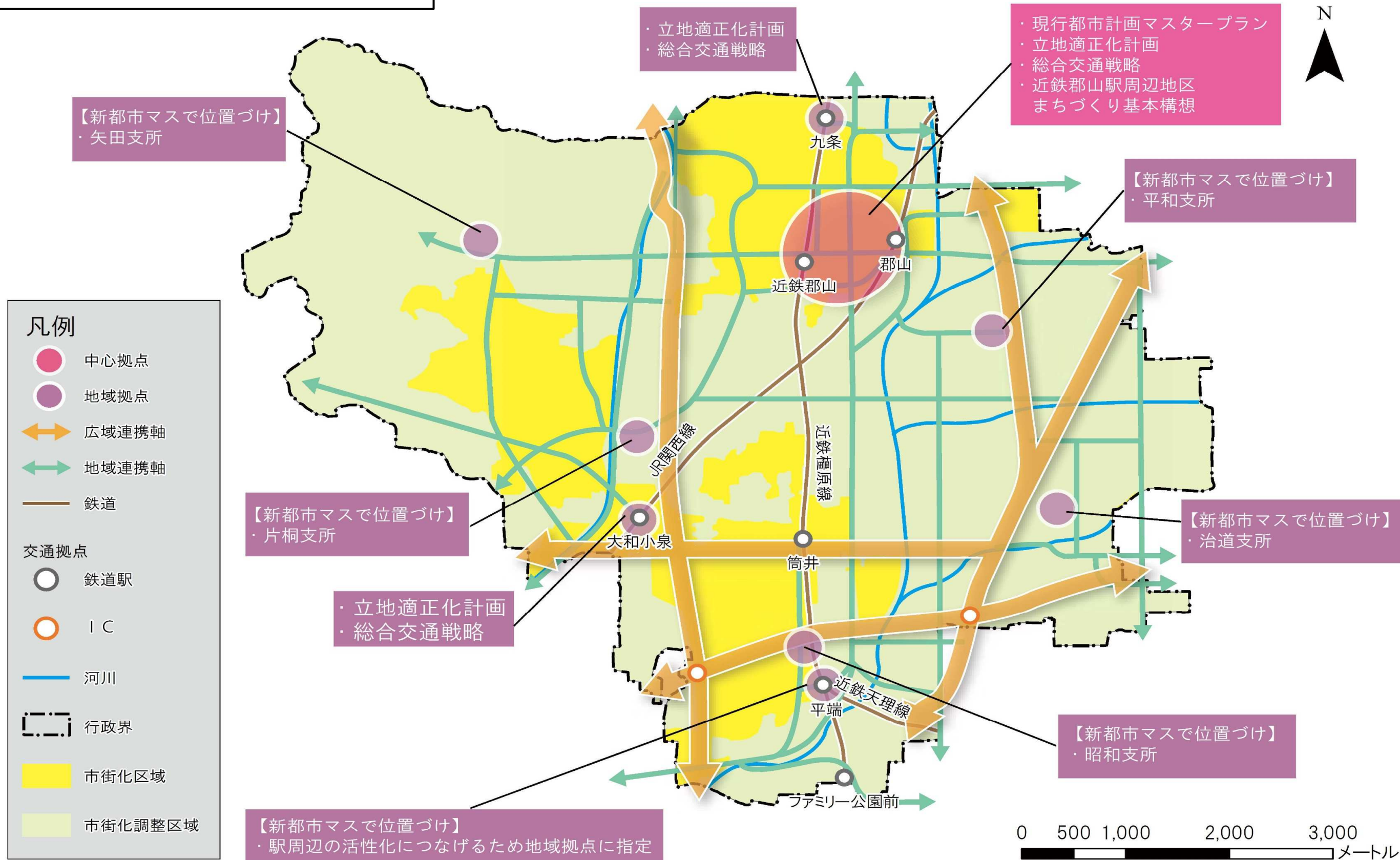
- 関連主要プロジェクト**
- 城下町地区における空き店舗・空き家の利活用
 - 奈良県中央卸売市場のリニューアル
 - IC周辺の工業地としての活用

都市づくりの目標④

災害に対して安全安心な都市づくり

- 関連主要プロジェクト**
- 国土強靱化計画
 - 長寿命化計画

将来都市構造(中心拠点・地域拠点)



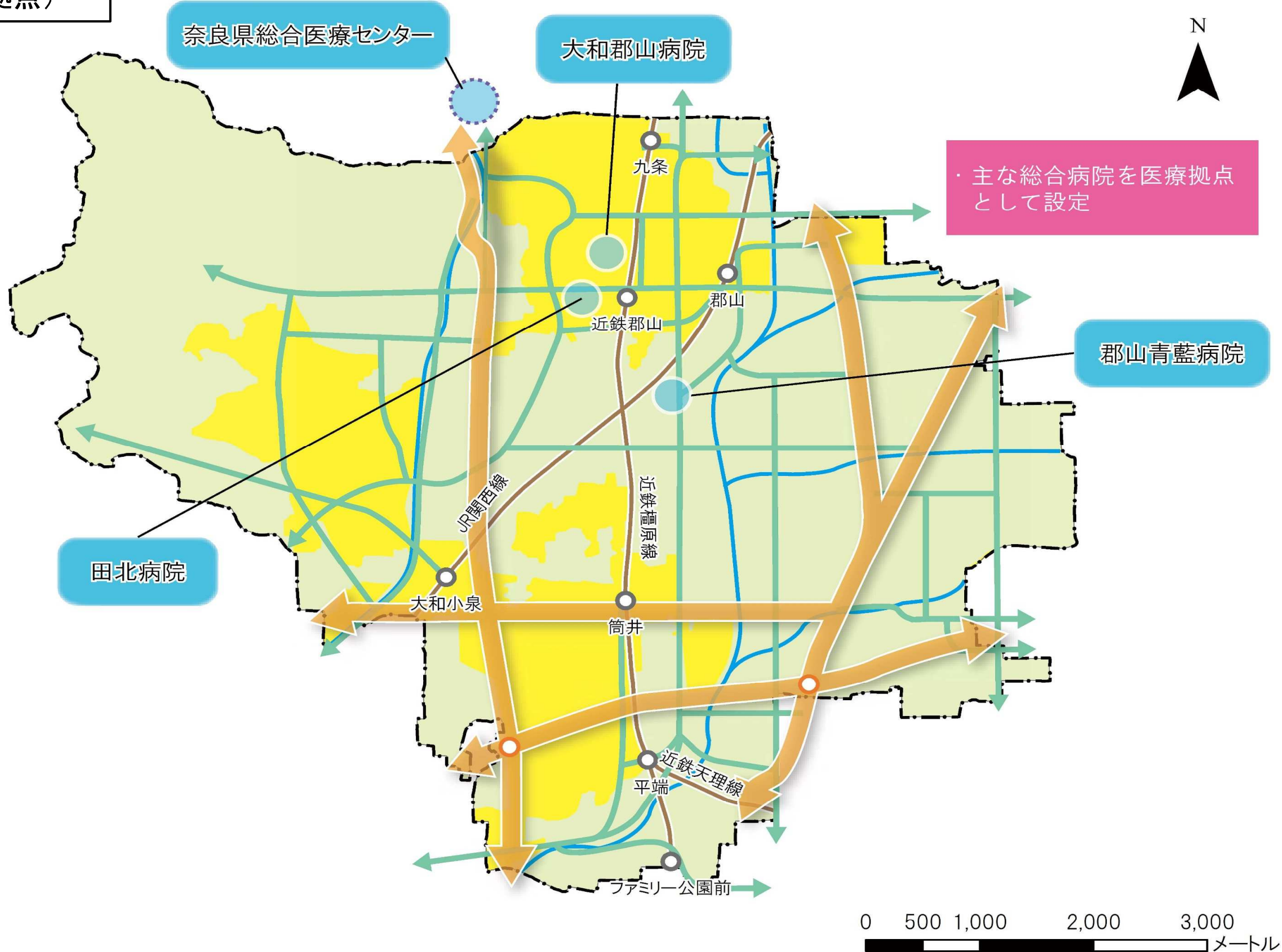
将来都市構造(医療拠点)

凡例

- 医療拠点
- ↔ 広域連携軸
- ↔ 地域連携軸
- 鉄道

交通拠点

- 鉄道駅
- IC
- 河川
- - - 行政界
- 市街化区域
- 市街化調整区域



将来都市構造(レクリエーション拠点)

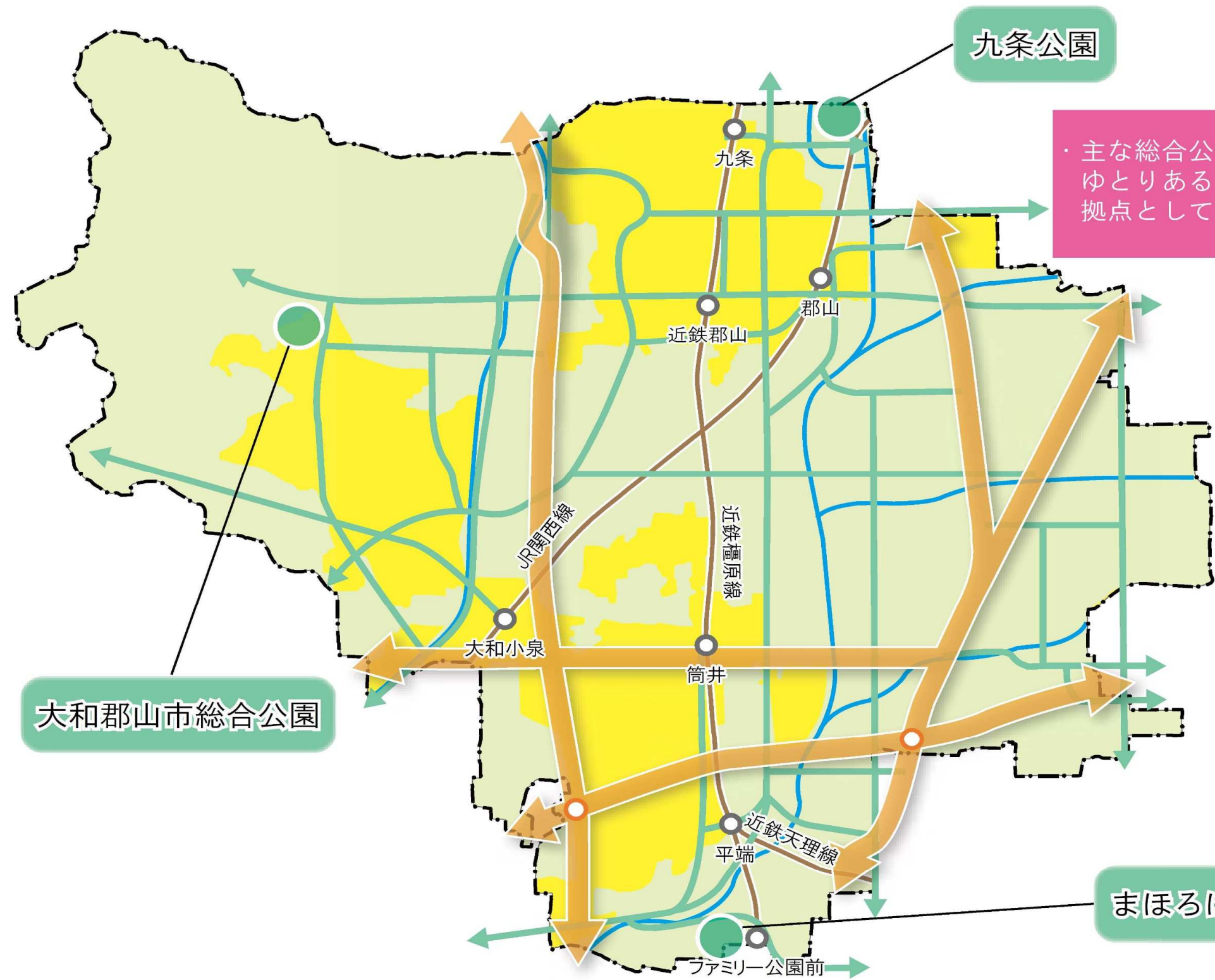
N



・主な総合公園や運動公園を
ゆとりあるレクリエーション
拠点として設定

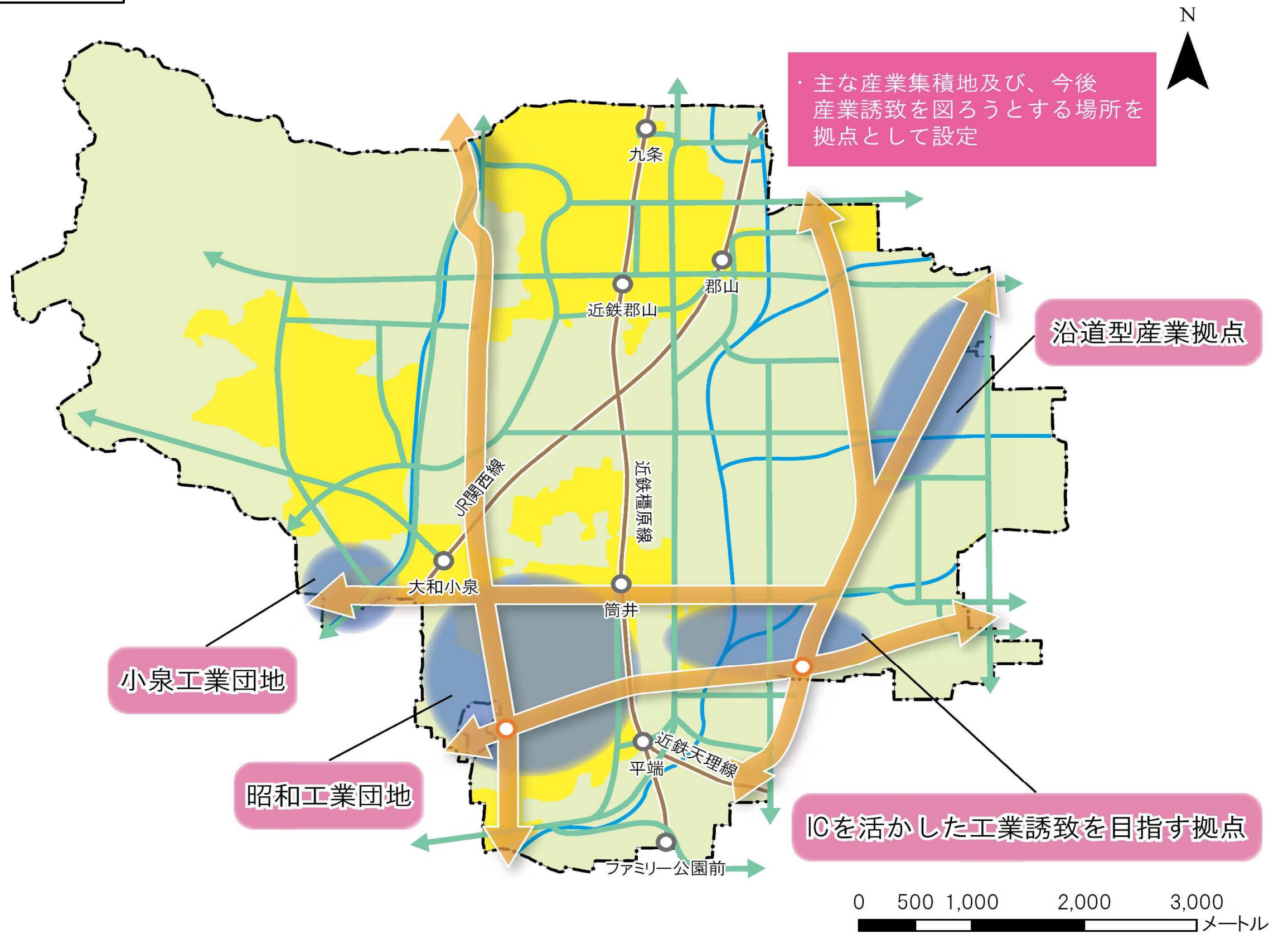
凡例

- レクリエーション拠点
- 広域連携軸
- 地域連携軸
- 鉄道
- 交通拠点**
- 鉄道駅
- IC
- 河川
- 行政界
- 市街化区域
- 市街化調整区域



将来都市構造(産業拠点)

- 凡例
- 産業拠点
 - ↔ 広域連携軸
 - ↔ 地域連携軸
 - 鉄道
 - 交通拠点
 - 鉄道駅
 - IC
 - 河川
 - ⋯ 行政界
 - 市街化区域
 - 市街化調整区域



将来都市構造(歴史・文化拠点)

矢田寺を中心とした拠点

郡山城跡を中心とした拠点

平城京羅城門跡公園

・主な歴史文化財所在地域を歴史・文化拠点として設定

八幡神社

筒井城跡

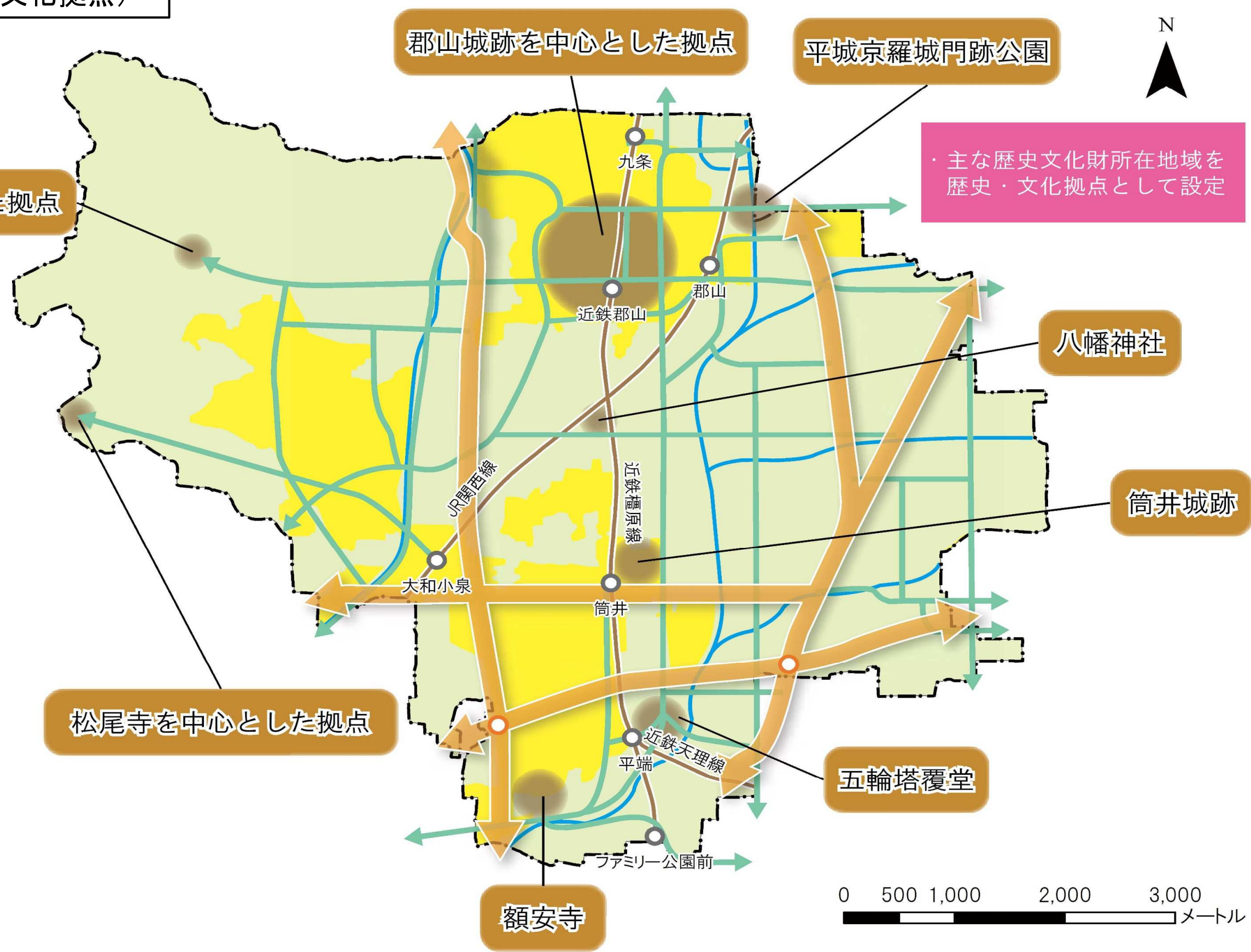
松尾寺を中心とした拠点

五輪塔覆堂

額安寺

凡例

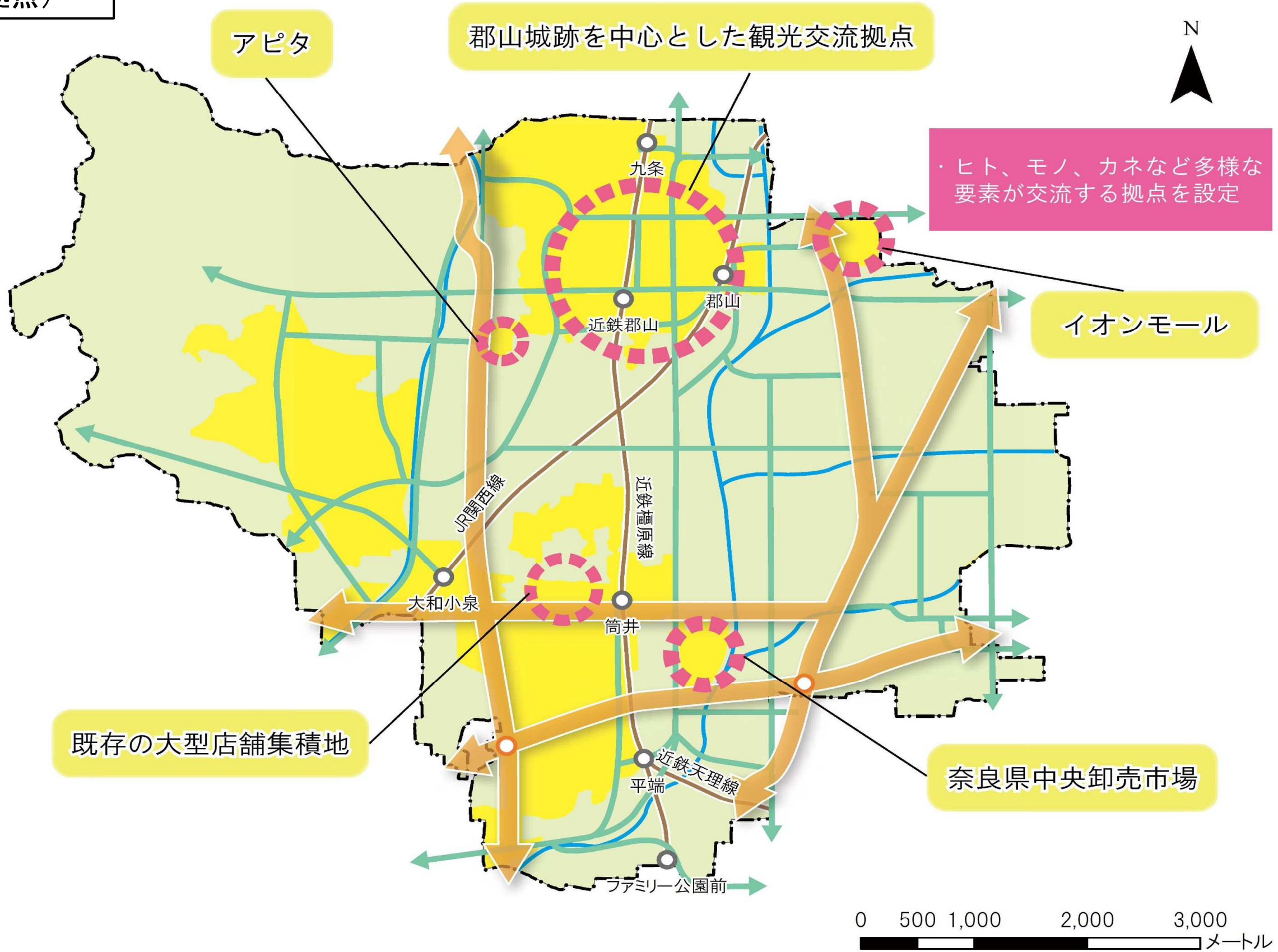
- 歴史・文化拠点
- ↔ 広域連携軸
- ↔ 地域連携軸
- 鉄道
- 交通拠点
- 鉄道駅
- IC
- 河川
- - - 行政界
- 市街化区域
- 市街化調整区域



将来都市構造(交流拠点)

凡例

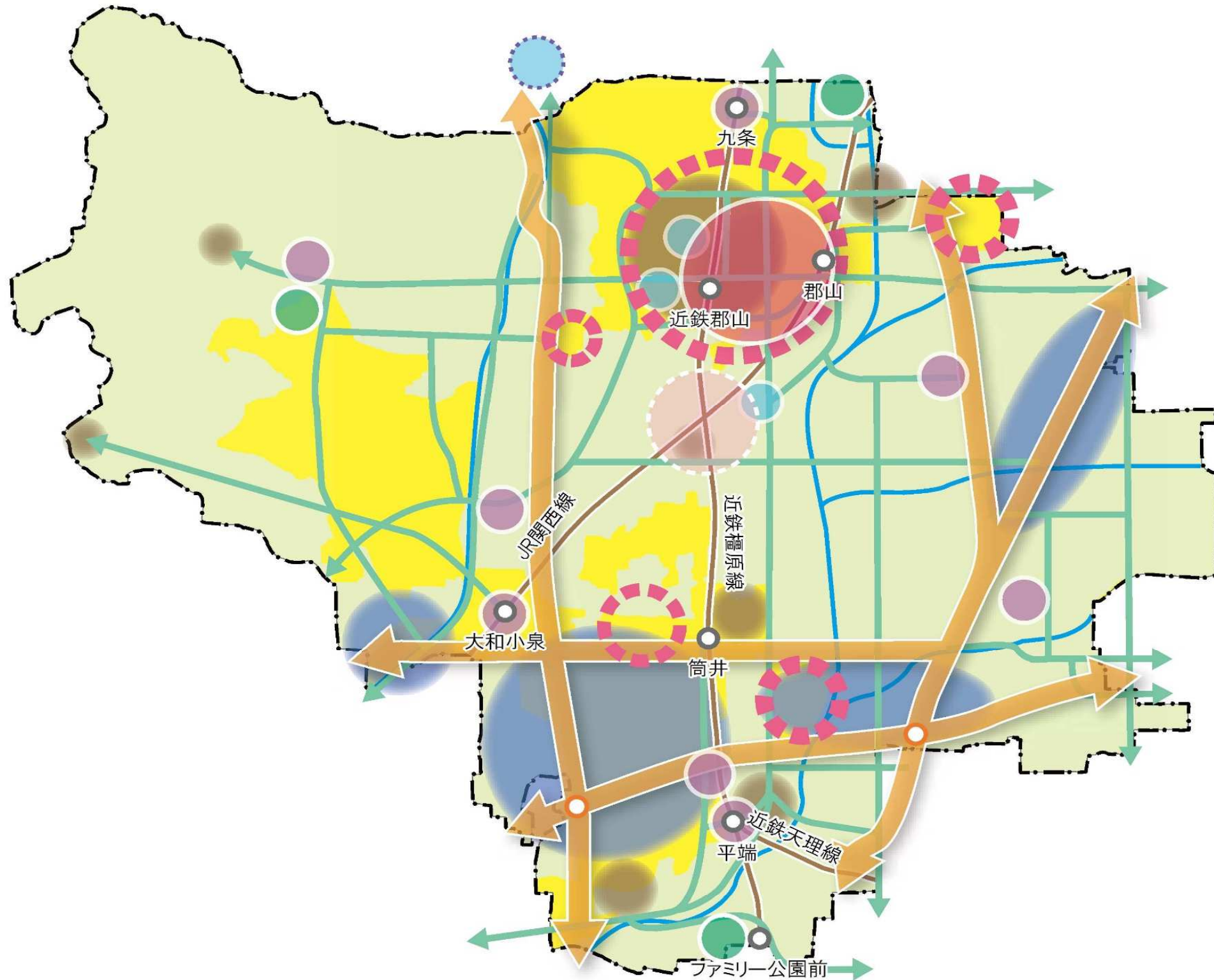
- 交流拠点 (Red dashed circle)
- 広域連携軸 (Orange double-headed arrow)
- 地域連携軸 (Green double-headed arrow)
- 鉄道 (Brown line)
- 交通拠点
 - 鉄道駅 (Black circle)
 - IC (Red circle)
- 河川 (Blue line)
- 行政界 (Dashed black line)
- 市街化区域 (Yellow fill)
- 市街化調整区域 (Light green fill)

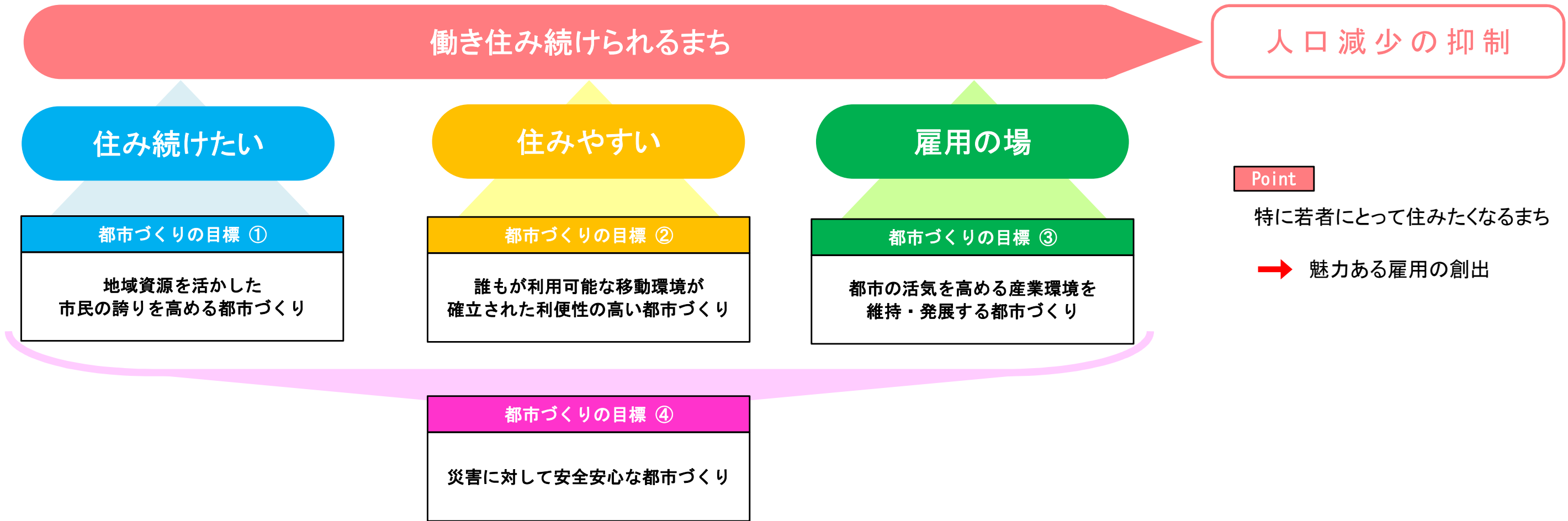


将来都市構造図



- 凡例**
- 中心拠点
 - 地域拠点
 - 医療拠点
 - レクリエーション拠点
 - 産業拠点
 - 歴史・文化拠点
 - 交流拠点
 - 広域連携軸
 - 地域連携軸
 - 鉄道
 - 交通拠点**
 - 鉄道駅
 - IC
 - 河川
 - 行政界
 - 市街化区域
 - 市街化調整区域





現行計画との違い

第2次都市計画マスタープラン

都市づくりの目標

- ① 自然・歴史等の**地域資源**の保全と活用
- ② 快適で、**安全・安心**な住環境の向上
- ③ **にぎわい**、**活力ある地域活性化**の推進
- ④ 協働の都市づくりの推進

第3次都市計画マスタープラン(案)

都市づくりの目標

- ① **地域資源**を活かした市民の誇りを高める都市づくり
- ② 誰もが利用可能な**移動環境**の**確立された利便性の高い**都市づくり
- ③ 都市の**活気**を高める**産業環境**を維持・発展する都市づくり
- ④ 災害に対して**安全安心**な都市づくり

